

助成活動実績報告書

企画名	ふるさと再発見！第2回旭川源流大学 in 新庄～第16回中高生のための水辺教室—旭川源流に泊まろう・学ぼう・調べよう—
団体名	中学高校環境研究会

① 活動の目的について

環境研究を行っている市内等の中学校、高校生徒に1泊2日の環境調査実習の機会を提供し、青少年の環境意識の向上を図る。

今回は、真庭市神代の龍宮岩周辺と新庄村毛無山森林セラピー基地で第1日目には石灰岩地形の観察と班に分かれて①石灰岩中の化石探し②溪流の水生昆虫観察③植物観察を行い、第2日目には朝鍋鷲ヶ仙登山と溪流の景観保全活動を地元と交流し協働作業し旭川を守る水源林保全の重要性を体験する。協力する大学生には指導者研修の機会とする。

② 内容について

準備期間 5月3日から4日（下見調査講師10人・宿泊：新庄山の駅）

調査期間 5月～12月、水生昆虫・魚類・植物相調査、各3回

本イベント期間 7月17日（一般の部）参加者・スタッフ65人

8月9～10日（中高生の部）参加者・スタッフ73人

会場：新庄川・朝鍋山など、宿泊：新庄山の駅

活動成果発表 9月23日～24日『第4回いい川いい川づくりワークショップ』（東京、国立オリンピック記念青少年総合センター）

10月24日「第2回全国源流サミット」民間団体円卓会議にて発表（岡山県新庄村・新庄中学校）

11月23日「旭川流域シンポジウム」（ARnet主催）にて発表。（新庄村新庄中学）

③ この活動によって達成された成果

「旭川源流大学」というフィールド調査タイプの宿泊型環境教育プログラムの開発が進んだ。中学高校のクラブ活動の活性化・大学の野外調査実習開発および、源流の村や岡山の市民交流も地元行政の協力によって円滑に進んだ。この事業のために約半年間の生物調査により、改めて、岡山県新庄村周辺の旭川源流域の生物多様性の豊かさが明らかになった。

「第2回全国源流サミット」「第4回いい川いい川づくりWS」に参加発表して、活動報告し全国に情報発信を行なった。

従来からの「中高生のための水辺教室」から発展的に「旭川源流大学」を生み出すことができた。

市民参加型「旭川源流大学」を小規模ではあるが無事運営実施することができた。

④ 今後の計画・展望について

旭川流域の源流域～中流域～児島湾までにフィールド観察事業を適切な季節に企画したい。地元の市民活動と提携することで市民への情報発信を相乗的に増加させたい。

世界的に貴重な日本の美しい水環境をガラパゴスやアマゾンに負けない魅力的な自然観察型の学習資源にすることを目指している。